1998年度
講義計画

桃山学院大学

講　義　計　画

国手best
国手best講義講

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
地理歴史科教育法	01	前期	2単位	野尻　亘
	02	前期	2単位	

［講義概要・学習目標］

学校教育現場では、いじめ・不登校・校内暴力・非行・差別などの諸問題に苦悩している。このような状況の中で、「地理歴史科」の教育は、どのようにあるべきか。

単に知識の伝達に留まらず、人権教育・平和教育・環境教育・開発教育・国際理解教育といったテーマのもとで、地理歴史教育の再構築を目指すこととする。

［講義計画］

〈前期〉1. 学校における教科教育　陶冶と訓育
2. 地理歴史科の目標
3. 地理歴史科のカリキュラム構成
4. 教育実習と授業実践
5. 環境教育と自然に親しむ体験学習
6. 公害教育
7. 歴史教育と人権学習
8. 平和反戦と地理・歴史教育
9. 開発教育
10. 国際理解教育・多文化理解教育
11. 学校地理教育・歴史教育の目標と課題
12. 生涯学習社会と地理歴史教育

［成績評価の方法］

レポートにするか試験にするかは授業の進度と履修状況をみて決定する。

［教科書］

使用しない

［参考文献］

文部省『高等学校学習指導要領』大蔵省印刷局
文部省『高等学校学習指導要領解説　地理歴史編』実教出版

井原政純『社会・地理・公民科基礎論』多賀出版
永井滋郎・平田嘉三『社会科重要用語300の基礎知識』明治図書

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
英語科教育法		通期	4単位	島田勝正

［講義概要・学習目標］

英語教師志望者を対象とする。英語科教育の基礎理論を概観するとともに、その理論の教育実践への適用を考察する。授業内容は第二言語習得論、英語教育目標論、指導課程論（シラバス論、授業計画）、指導方法論、指導技術論（4技能、文法、語彙）教材論、測定評価論、学習者論、教師論と多岐にわたる。単に理論の紹介に終始せず明日の教育実践を射程に入れたワークショップを展開する。その中で受講者は学習の促進としての指導は如何にあるべきかを探求することになる。その体験は授業案作成、マイクロティーチングとして具現化される。問題意識をもって授業に臨んでほしいので、原則として毎回「課題」提出を課す。課された分担作業は責任をもって果たすこと。

［講義計画］

＜前期＞
1. 教師論（英語教師の特性）
2. 第二言語習得論（習慣形成理論と生得理論）
3. 第二言語習得論（学習転移）
4. 第二言語習得論（誤答分析）
5. 第二言語習得論（インプット仮説）6. 第二言語習得論（形式教授の役割）7. 言語能力の分類
8. 文法教授（意識化活動）
9. 第二言語習得論（有標性理論、教授可能性理論）
10. 目標論（伝達能力）
11. 目標論（学習指導要領）
12. 学習者論（学習方略）
13. 指導方法論（各種指導法概観）
14. 前期定期試験

＜後期＞
1. リスニング（背景知識の活性化）
2. コミュニカティブアプローチ（機能シラバスと教授法）
3. スピーキング（情報格差活動）
4. リーディング（発問の種類と方法）
5. ライティング、語彙（記憶術）
6. 指導計画（授業案）、授業分析
7. テスティング（1）（妥当性、信頼性）
8. テスティング（2）（多肢選択型テスト、クローズテスト、伝達テスト）
9. テスティング（3）（教育統計、項目分析）
10. マイクロティーチング（1）
11. マイクロティーチング（2）
12. マイクロティーチング（3）
13. マイクロティーチング（4）
14. 後期定期試験

［成績評価の方法］

得点配分は以下の通り。（1）課題提出（授業参加）1回3点×12回=36点（遅刻減点1点）（2）レポート30点（3）定期試験34点　前期、後期の平均を総合得点とする。但し、授業時間の3分の1（8回）を越えて欠席した場合、定期試験を無断で欠席した場合、レポートを提出しない場合は総合得点が基準点（60点）に到達していたとしても単位を認定しない。

［教科書］

島田勝正（編著）Methods of Teaching English as a Foreign Language: Testing of Teaching (Second Edition) Reaing Packet

［参考文献］

1. 青木（編）『英語科教育の理論と実践《理論編》《学習指導編》』（現代教育社）
2. 片山、遠藤、佐々木、松村（編）『改訂版　新・英語科教育の研究』（大修館書店）
3. 青木（編）『英語授業実例事典 I, II』（大修館書店）
4. 青木（編著）『英語授業の組立て』（開隆堂）
5. 山田、望月（編）『私の英語授業』（大修館書店）
6. Rechards, J., Platt, J. and H. Platt (eds): *Longman Dictionary of Language Teaching and Applied Linguistics, Second Edition* Longman

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
商業科教育法		前　期	2単位	松　原　勇

[講義概要・学習目標]

21世紀を担う高等学校の商業科教員を目指す学生を対象にした教員免許取得のための必修科目である。今日の商業教育は、グローバル・スタンダード化に対応できる人材の育成が急務である。優れた企業倫理を身につけ、専門的な知識・技術のより高度な修得が求められている。

学習指導要領では、商業社会の大競争時代に適応できる心豊かな人間の育成、自己教育力の育成等を目標にしている。その趣旨に鑑み、将来教育に携わる者は、教育理念のもと、その本質に立脚した姿勢と自覚をもって臨まなくてはならない。

本講は、商業社会の現状を踏まえ、将来の商業教育を展望しつつ、教育上の本質を究明する。併せて、模擬授業の展開により、創造力、表現力の向上、学習指導案の作成、EQ等の実践指導をはかる。

[講義計画]

(前期) 1. 商業教育の意義と目的
2. 現在の商業教育
3. 教育課程の編成
4. 学習指導法(模擬授業の展開)
5. 学習指導計画と教育評価
6. 今後の商業教育の展望等

[成績評価の方法]

主として、出席を厳しくも視して評価する。なお、模擬授業の実践面の評価、併せて、学年末試験等も勘案のうえ、総合評価とする。

[教科書]

松原 勇(編著)「商業科教育法」(ぎょうせい)

[参考文献]

文部省(編)「高等学校学習指導要領」(商業編)(大日本図書)

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
道徳教育の研究		前　期	2 単位	徳　永　正　直

[講義概要・学習目標]

いじめ・自殺、登校拒否、凶悪化する少年非行など、子どもたちの問題行動の質的変化と激増に対処するために、道徳教育の充実強化の必要性が力説されているが、問題行動の原因と背景は適切に把握されているだろうか。何故子どもたちの人権感覚は麻痺し、「いのちへの共感」が失われてしまうのだろうか。この点に焦点を当てながら、平和、人権、環境の問題をも視野にいれながら、道徳教育の課題を包括的に把握し、その方法としての「対話」と「教育的タクト」の問題について解説する。

とかく問題の多い道徳教育に対する各自の見解の確立を目指す。

[講義計画]

§1. 子どもの問題行動を考える
①少年による凶悪事件とその原因を考える　アリス・ミラーの『魂の殺人』を手掛かりに
②「いじめ」事件とその克服に向けて
§2. 学校教育の問題
①子どもの権利　②校則問題　③教師の懲戒権　④望ましい罰のあり方
§3. 人間存在と道徳
①慣習的道徳から反省的道徳へ　②カントの道徳律　③道徳性の発達　コールバーグ理論を中心に
§4. 道徳教育の方法としての「対話」と「教育的タクト」

[成績評価の方法]

筆記試験およびレポート作品によって評価する。

[教科書]

徳永・堤・宮嶋『対話への道徳教育』(ナカニシヤ出版、1997年)

[参考文献]

そのつど講義のなかで指示する。

《インテグレーション科目》

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
特別活動論（旧教科外教育の研究Ⅰ）	01	後期	2単位	
	02	後期	2単位	林　陸雄

［講義概要・学習目標］

中学校・高等学校の正規の教育活動には、各教科の授業以外に「特別活動」がある。その内容には、学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事が含まれている。

その教育目標の意図するところは、現代社会における閉ざされがちな子どもたちの社会生活体験を開き、社会関係能力の向上・改善を図ることにある。

それを実現するには、まず教師自身がこの教育目標で求められている諸能力を獲得する必要がある。その上に、現実の子ども達を指導するための理論と実践力を合わせ持たねばならない。　従って、この授業では、受講生自らの社会関係能力を涵養すると共に、特別活動の教育目標と内容を実践するための基礎・基本について、体験的学習をすすめることになる。

限られた授業回数の中で集約的に展開するので、全出席を守り、遅刻早退をしないこと。

［講義計画］

1. 特別活動の内容と目標、年間計画
2. 学級活動
3. 学級活動
4. 生徒会活動
5. 生徒会活動
6. クラブ活動
7. クラブ活動
8. 学校行事
9. 学校行事
10. 学校行事
11. 学校行事
12. まとめ

［成績評価の方法］

出席回数、授業内での小レポート、期末考査の結果を総合的に判定して行う。但し、2/3以上の出席がなかれば評価をしない。

［教科書］

プリントを配布する。

［参考文献］

授業の中で、適宜紹介する。

《インテグレーション科目》

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
生徒指導法（旧教科外教育の研究Ⅱ）	01	前期	2単位	
	02	前期	2単位	林　陸雄

［講義概要・学習目標］

生徒指導法の授業では、生徒指導、教育相談、進路指導をテーマとして取り上げる。しかし、それらに共通する基本的な課題は、人間理解に関する実際的な態度・能力である。現実的・実際的な人間理解について体験的に学習する。

限られた授業回数なので、集約的に授業を展開するから、全出席を守り遅刻早退をしないこと。

［講義計画］

1．授業びらき：授業計画と学習方法
2．人間の教育を支えるもの
3．人間理解の具体的意味
4．観察の再検討
5．人のニードを把握する
6．ひとの欲求と欲望
7．生徒指導の原理1
8．生徒指導の原理2
9．教育相談1
10．教育相談2
11．進路指導1
12．進路指導2
13．まとめ

［成績評価の方法］

出席回数、授業内での小レポート、期末考査の結果を総合的に評価して行う。

但し、2/3以上の出席がなければ、評価しない。

［教科書］

大段　智亮　著
『人間理解』　看護人間学研究会　発行

［参考文献］

授業の中で、適宜紹介する。

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
同和教育論	01	通　期	4単位	黒田伊彦

［講義概要・学習目標］

「国連の人権教育十年」が始まり、人権文化の確立が求められている。同和教育も平準化から個性化へ、自立と共生の教育による「部落」のアイデンティティの再構成が課題となっている。
前期は、差別とは何か、部落差別の現実と闘いの歩みから部落解放の方策を明らかにする。
後期は、同和教育の歩みから融和教育、同和教育、解放教育の違い。「いじめ」を克服する同和（解放）教育のあり方及び部落問題学習のあり方を考察し、グループ研究の発表により、部落問題の教科書批判や学習教材、集団主義と仲間づくり、学力保障と進路保障、反戦平和教育と部落問題等反差別、人権教育の現状と方向性を研究討議する。教員採用試験の同和、人権教育関係問題の演習を行う。
教科書、補充プリント、映像資料を用いる。
島崎藤村の「破戒」の読書感想文のレポートの提出を課す。
人権教育Ⅳ（部落問題）の履修済が望ましい。

［講義計画］

〈前期〉(1) 人権とは何か、差別とは何か
(2) 部落差別の現実と本質
(3) 部落の起源と部落差別との闘いの歴史
(4) 部落解放の方策と同和（解放）教育の課題

〈後期〉(1) 「いじめ」を克服する同和教育
(2) 戦前の融和教育と戦後の同和教育の歩み
(3) 同和教育とは何か
(4) 部落問題学習の基本視点と教材
(5) グループの研究発表
(6) 教員採用試験の同和、人権関係問題の演習

［成績評価の方法］

前期はテストと「破戒」読書感想文、レポートと出席点で評価する。
後期はグループによる研究発表と担当部分の個人レポートと出席点によって評価する。
出席を重んじる。

［参考文献］

中尾健次・森　実（編）『同和教育の理論』（東信堂）
部落解放研究所（編）『戦後同和教育の歴史』（解放出版社）

［教科書］

黒田伊彦（著）『部落問題学習16講』（柘植書房新社）

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
同和教育論	02	通　期	4単位	野口良子

［講義概要・学習目標］

『人権教育のための国連１０年』『人権擁護施策法』の制定など『人権文化』の創造が国内的にも国際的にも問われている。『人権文化』の創造のためには、何よりもまず部落差別をはじめ、一切の差別を許さない人間関係を創出しなければならない。これは学校教育、社会教育に課せられた大きな責務である。
いじめ、荒れる子と荒れさせる子、落ちこぼされていく子、偏差値信仰の中で自ら落ちこぼれていく子、生きることの目標が持てない子、不登校など、自らの人権を大切にしないが故に他者の人権に無関心な子、子どもたちの会話にみる老人蔑視、外国人差別など、教育現場では多くの問題がある。そうした問題を解決するためにどのような取り組みが必要なのかを具体的に考えさせていく。

［講義計画］

〈前期〉(1) 人権、差別とは何か
(2) 今、なぜ同和教育が必要なのか
(3) 教育における差別の現状
(4) 反差別の学級集団づくり（子ども集団づくり）

〈後期〉(1) 戦後の同和教育運動の歩み
(2) 部落解放の方策と同和教育の課題
(3) 部落問題学習の進め方
(4) 教育は子どもの心を揺さぶる営み（教育実践例）
(5) グループ討議と発表
(6) 生き方を創る反差別の教育

［成績評価の方法］

講義の感想文もしくは出題レポートなどを書いてもらい、それを出席、平常点とする。前期はテキスト『反差別の学級集団づくり』を読んでレポート、後期は試験を行う。以上を総合的に評価する。

［参考文献］

野口良子『生き方を創る反差別の教育』明石書店
野口良子『いじめを跳ね返した子どもたち』①・②・明石書店

［教科書］

野口道彦・野口良子共著『反差別の学級集団づくり』明石書店

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
視聴覚教育		後　期	2単位	冷　水　啓　子

［講義概要・学習目標］

情報化社会の進展に伴って，人々を取りまく社会・教育的環境が急速に変化しつつある。テレビでは，従来の番組の拡充に加え，衛星放送，文字放送（字幕番組），ハイビジョンなどの普及により，利用の選択肢がさらに広がった。また，家庭や学校，地域社会の中にファクシミリやワードプロセッサ，パーソナルコンピュータなどの電子メディアがどんどん導入され，日常的にそれらを利用する機会も増えた。人々はさまざまな新しい視聴覚メディアに囲まれて暮らすようになったが，このようなメディアを教育の現場でどのように活用すればよいかが新たな重要課題となっている。

そこで本講では「視聴覚教育とメディア」について，視聴覚教育および視聴覚教育メディアの意義とその種類や特徴，視聴覚教育メディアを活用した学習支援の方法，さらにその教育的可能性と限界の観点から考察する。

講義内容に関連する資料や補助教材は，ＯＨＣ，ＶＴＲ，印刷物などにより適宜提供する。必要に応じてコンピュータ実習を行う。

履修生の主体的・積極的な受講を期待している。

［講義計画］

Ⅰ．教育とメディア
　1．活字・印刷メディアの利用――絵本，漫画，雑誌など
　2．テレビとビデオの利用――その利用形態と社会・教育的役割
　　①テレビ番組
　　②幼児教育番組
　　③文字放送，字幕番組，手話通訳つき番組
　3．テレビとテレビゲーム――子どもの発達と学習への影響
　4．教育へのコンピュータ利用――ＣＡＩ，ＣＭＩ
Ⅱ．通信とメディア：パソコン通信とインターネット

注）この計画内容については講義・実習の進捗状況によって変更することがある。

［成績評価の方法］

出席を重視する。学期末に試験を実施する。その他必要に応じて，視聴覚機器やコンピュータを利用した実習への参加，レポート提出などを求める。それらの結果に基づき総合的に評価を行う。

［教科書］

［参考文献］

赤堀侃司（著）　『学校教育とコンピュータ』　（NHKﾌﾞｯｸｽ）
子安増生・山田冨美雄（編）　『ニューメディア時代の子どもたち』（有斐閣選書）
水越敏行・佐伯 胖（編）　『変わるメディアと教育のありかた』（ミネルヴァ書房）
(財) 日本視聴覚教材センター（編）『視聴覚教材メディアの活用』（(財) 日本視聴覚教材センター）
高島秀之（編）　『マルチメディア教育』　（有斐閣選書）

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
図書館学		前期	2単位	吉田　憲一

［講義概要・学習目標］

昨年６月，長年の懸案であった学校図書館法が改正された。様々な問題を残しながらの改正であったが，それとともに、文部省あるいは地方自治体から学校図書館の充実施策が出されている。しかしそれは，真に生涯学習時代における学校図書館の役割が再認識、再評価されてできたものとは思われない。この科目では，前半部分では、学校教育における学校図書館の意義と役割を考える中から，このことを明確にしていきたい。

後半部分では、学校教育活動を支える学校図書館の活性化のために、司書教諭の果たすべき役割を考え、自主性、自発性に基づいた創造的な学習を進めていくに大切な図書館利用の計画や指導方法，読書指導等を講義する。とりわけ小学校における学校図書館の役割の重要性を学んでいただきたい。

なお，ビデオを利用して，学校図書館のいきいきとした活動の実際を学ぶ。

［講義計画］

1．学校図書館の意義と役割
2．学校図書館関連法規・基準
3．学校図書館法の改正について
4．学校図書館の歴史
5．学校図書館の施設と管理
6．資料の収集と選択
7．学校図書館の利用法
8．資料の利用と指導
　(1) 利用指導の内容
　(2) 利用指導の評価
9．読書指導
　(1) 読書興味の発達
　(2) 読書指導

［成績評価の方法］

中間期のレポートおよび最終講義時のテスト結果で評価する。

［教科書］

塩見昇著　『学校図書館論』　（教育史料出版会）
（新編図書館学教育資料集成９）

［参考文献］

全国学校図書館協議会編刊　『学校図書館関係法規基準集』

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
生 涯 学 習 概 論	０１	前期	２単位	伊 藤 正 純

［講義概要・学習目標］
いま日本では「生涯学習」の大合唱が起こっている。技術革新の激しい現代社会において、日々知識を獲得する学習活動はあらゆる成人――どんなに忙しい人々を含めて――にとって必要である。ところが、そのためには、あらゆる成人がある程度ゆとりをもって自由に学習できる環境（＝条件）整備が不可欠である。日本の生涯学習の現状をみると、その条件整備の点ではまだまだ遅れていると言わざるを得ない。特に、生涯学習の先進国であるスウェーデンと比較すると、日本の生涯学習政策の問題点が明瞭に見えてくる。それでも、意欲的な人々は 時間とお金を工面しながら、日本でも生涯学習活動に参加している。
生涯学習概論は図書館法改訂に伴い司書課程の必修科目となったが、社会教育施設論における生涯学習論および日本の生涯学習政策の解説を超えた視点から、「生涯学習とは何か」を具体的に考える講義を行ってみたい。受講生の皆さんにも一緒に考えてもらいたい。

［講義計画］
1．生涯学習とは何か。
　ユネスコの生涯教育論、ＯＥＣＤのリカレント教育論
2．日本の「生涯学習」の特異性
　生涯学習振興法と「生涯学習」の実情
　高等教育における生涯学習の推進状況
　地方自治体
3．生涯学習の国・スウェーデンでの実験
　コミューン成人教育、国民高等学校
　労働経験大学入学制度、学生ローン
　教育休暇制度、成人教育奨学金制度
　学習サークル
4．社会教育施設
　図書館、博物館、公民館など

［成績評価の方法］資格取得科目であるので、出席重視・授業中の感想文重視で評価する。定期試験を実施するかどうかは未定。なお、２０分を超えた遅刻は認めない（入室禁止措置をとる）。

［教科書］なし

［参考文献］
1．黒沢惟昭編『苦悩する先進国の生涯学習』社会評論社
2．黒沢惟昭編『生涯学習時代の社会教育』明石書店
3．文部省編『平成８年度　我が国の文教政策』
4．日本労働研究機構『大学院修士課程における社会人教育』
5．桃山学院教育研究所『和泉市民の生涯学習に関する意識調査報告書』

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
生涯学習概論	０２	後　期	2単位	小 股 憲 明

［講義概要・学習目標］
生涯学習および社会教育の本質についての理解を図り、臨時教育審議会以後の生涯学習社会への移行をめざす教育諸改革の動向を把握することを目標に、講義計画に従って概説する。

［講義計画］
1．生涯学習の意義
2．生涯学習と家庭教育・学校教育・社会教育
3．統計資料に見るわが国の教育水準～生涯学習の社会的基盤～
4．生涯学習社会への移行～教育改革の方向～
5．生涯学習関連施策の動向(1)～全国的に見て～
6．生涯学習関連施策の動向(2)～大阪府・堺市の場合～
7．社会教育の意義と歴史
8．社会教育の内容・方法・形態
9．社会教育施設と指導者
１０．学習情報の提供と学習相談
１１．生涯学習・社会教育関連法規と行政の役割

［成績評価の方法］
出席およびレポート。

［教科書］
用いない。講義はプリントを中心にして進める。

［参考文献］
講義の中で適宜指示する。

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
図書館通論		前期	2単位	志保田 務

[講義概要・学習目標]

現代社会における図書館の全体像及び意義について概説する。特にコミュニケーション、情報の伝達にかかわる図書館の役割、生涯学習ステージにおけるその働きについて述べる。図書館・情報学についても触れる。

[講義計画]

1 図書館とは：定義
2 図書館と社会
3 図書館に関する法規
4 図書館の歴史
5 図書館の種類：館種
6 公共図書館
7 大学図書館・学校図書館
8 専門図書館・国立図書館
9 図書館業務
10 図書館経営
11 図書館協力
12 図書館・情報のネットワーク

[成績評価の方法]

テスト

[参考文献]

前島重方，志保田務（共編）「図書館概論」（樹村房）

[教科書]

藤野幸雄（ほか著）「図書館情報学入門」（有斐閣）

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
図書館経営論		後期	2単位	西田文男

[講義概要・学習目標]

図書館経営にかかわる組織、管理、運営、各種計画について解説する。

[講義計画]

1. 図書館経営の在り方
2. 自治体行政と図書館
3. 図書館の組織と管理・運営
4. 図書館長、図書館員の責務および養成
5. 図書館サービス計画の意義と方法
6. 図書館の整備計画と施設、設備、備品
7. 図書館業務・サービスの評価
8. 情報ネットワーク形成の意義と方法

[成績評価の方法]

定期試験の成績によって評価する

[参考文献]

[教科書]

「図書館経営論」 加藤修子他 樹村房 ¥1,900.-

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
図書館サービス論		後　期	2 単位	志保田　務

［講義概要・学習目標］

「図書館サービス」は広義では図書館が提供する全サービスを指すが、この講義では、狭義の図書館サービスにあたる、直接サービスについて、特に公共図書館に重心をおいて進める。特に、1960年代以降の日本の図書館の発展をこの直接サービスの進展を軸に追究したい。

［講義計画］

1．図書館サービスの意義
2．図書館サービスを支える法・基準
3．図書館サービスの発展　1　戦前
4．図書館サービスの発展　2　1950年代
5．図書館サービスの発展　3　1960年代
6．図書館サービスの発展　4　1970年代
7．図書館サービスの発展　5　1980年代以降
8．全域サービス
9．障害者サービス
10．図書館と自由
11．公貸権と著作権
12．図書館サービスの方向：法改正問題など

［成績評価の方法］

テスト　90%
出席　10%

［教科書］

前島重方（ほか著）『図書館活動』改訂（樹村房）

［参考文献］

塩見昇（著）『図書館活動論』（教育史料出版会）
日本図書館協会編『図書館はいま』（日本図書館協会）

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
情報サービス概説		前　期	2 単位	西　田　文　男

［講義概要・学習目標］

図書館に寄せられた質問・相談に接し、図書館の蔵資料と機能を活用して、利用者に援助を与える仕事をレファレンス・サービスという。図書館が行う情報サービスである。図書館奉仕の重要な柱の一つである。

ここでは、レファレンス・サービスの意義、歴史、業務内容、組織、運営等について概説する。また、基本的な参考図書やデータベースをとりあげ、その内容および利用法を解説する。

［講義計画］

1．レファレンス・サービスの意義・歴史
2．レファレンス・サービスのシステム、機能
3．参考図書の定義、種類
4．参考質問、レファレンス・インタビュー
5．参考図書の解説
6．書誌・目録・索引類の解説
7．データベースの解説

［成績評価の方法］

定期試験の成績で評価する。

［教科書］

「新版 参考業務 ―原論から演習まで―」
図書館学演習研究会 編著　学芸図書

［参考文献］

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
情報サービス演習		後　期	1 単位	西　田　文　男

[演習概要・学習目標]

タイプの異なる種々の演習問題を課し、参考図書をはじめ、各種の文献を駆使して回答を作成してもらう。

それを通じて、調査の方法、文献検索の技術を学んでもらう。その結果を随時発表してもらう。

[演習計画]

1. 図書に関する質問
2. 逐次刊行物に関する質問
3. ことばに関する質問
4. ことがらに関する質問
5. 歴史に関する質問
6. 地理に関する質問
7. 人物・団体に関する質問

等各種の質問の回答を作成してもらう。

[成績評価の方法]

定期試験の成績によって評価する。その他、日常の発表なども加味する。

[教科書]

「新版 参考業務 ― 原論から演習まで ―」
図書館学演習研究会 編著 学芸図書

[参考文献]

《インテグレーション科目》

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
情報検索演習	01	前　期	1 単位	志保田　務

[演習概要・学習目標]

図書館における情報提供サービスは、オンライン、オンデスクのサービスがデータベースを扱うことは、もはや図書館サービスにおける必須のこととなっ（インフォメーション・サーチャー）があり、この授業では、まずその基礎資格を得る方向を目指した授業を行う。データベースの検索や、CD-ROMの扱いについて学ぶ。インテグレーション科目で、講師には、情報の科学と技術協会の中心におられるサーチャー資格者たちをお招きする。

計算機センターのコンピュータ演習室を常用する。コンピュータの扱いについては授業での指示にしたがって展開できるようにする。できるだけキーボード操作、入力の練習をしておいてほしい。

[演習計画]

1. イントロダクション：インテグレーション計画
2. 情報利用の時代
3. データベースの構造
4. データベース検索の基本
5. 一次情報と二次情報
6. 図書・人物情報の検索（「ASSIST」利用）
7. 新聞記事・雑誌記事の索引（「日経テレコン」利用）
8. 企業情報（「DIALOG」利用）
9. ［インフォメーション・］サーチャーについて
10. サーチャー基礎資格試験に照準して
11. まとめ
12. テスト

[成績評価の方法]

テスト　70%
出席　10%
課題　20%

[教科書]

情報の科学と技術協会（編）『情報検索の基礎』第2版（情報の科学と技術協会）
ただし、そのつどのプリントが加わる。

[参考文献]

情報の科学と技術協会（編）『情報検索管理入門』第4版（情報の科学と技術協会）
丸山昭二郎（ほか編）『情報アクセスのすべて』増補改訂版（日本図書館協会）

科　　目　　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
情報検索演習	０２	後期	１単位	吉田　憲一

［講義概要・学習目標］

近年のコンピュータ関連技術や通信技術の急速な進展を背景として、21世紀の図書館は、従来の「印刷資料の館」から多メディアにわたる「情報（提供）の館」へと変わろうとしている。12cmの CD-ROM 1枚には、1,000冊を超える図書あるいは新聞数年分が優に収まり、そこから求める情報を自由に取り出すことができる時代に相応した図書館の役割が求められているからである。今までは図書館に行かないと得られなかった情報が、研究室で、或いは家庭で、パソコン端末から入手できるような時代となっている。このように情報・通信環境が大きく変容するなかで、電子化された情報を適切に組織化し、迅速に引き出す技術（特にデータベースについて）を習得できるように授業を進める。演習科目の性格上，できるだけ休まずに出席することが求められる。

［講義計画］

コンピュータ室での演習を４～５回程度行い，データベース作成および情報検索の演習を行う。

１．パソコン入門：ビデオ映写
２．情報管理と図書館：情報伝達メディアとその変遷
３．情報の蓄積と検索：データベースとオンライン情報検索
４．情報検索の演習
５．電子化図書館とその課題：コンピュータの光と影

［成績評価の方法］

パソコン教室での演習の成果および最終講義時に行うテストにより評価する。

［教科書］

戸田慎一著　『情報検索演習』　（日本図書館協会）
（ＪＬＡ図書館情報学テキストシリーズ）

［参考文献］

『ＮＡＣＳＩＳ－ＩＲ総合マニュアル』　改訂版　電気・電子情報学術振興財団

科　　目　　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
情報検索演習	０３	前期	１単位	吉　田　暁　史

［講義概要・学習目標］

本来この科目では、各種オンラインデータベースやCD-ROMを対象とした情報検索の演習を行うが、 旧カリキュラムの「情報管理」がなくなったこともあり、旧科目で扱っていた基礎事項の一部をまず解説し、その後演習を行う。

［講義計画］

1．情報伝達メディアの変容
2．情報の蓄積と検索
（1）抄録と索引
（2）索引言語
3．データベース
（1）データベースとは
（2）データベースの提供
4．情報検索の基礎事項
（1）情報検索とは
（2）情報検索の歴史
（3）索引と抄録
（4）遡及検索とカレントアウェアネス
5．情報検索の基本的技法
（1）ブール演算子
（2）近接演算子
（3）トランケーション
6．情報検索の実際

［成績評価の方法］

実習レポート（電子メール）、筆記試験、 出席状況を判断して行う

［教科書］

緑川信之編著　『情報検索演習』（新現代図書館学講座　7巻）
東京書籍、2,100円

［参考文献］

科　　目　　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
図書館資料論		後　期	2 単位	志保田　務

［講義概要・学習目標］

図書館を構成する要素のうち、最も特徴的な要素、図書館資料について講義する。図書を中心に、各種の資料について検討する。特に資料の電子化に注目し、図書館資料の中にしめるこれの位置について考究する。

［講義計画］

1．図書館資料論：「図書」から「資料」へ
2．図書館資料の種類
3．資料の生産と流通
4．資料の蓄積と提供
5．資料の検索　ＩＲ
6．資料の選択
7．情報化：「資料」から「情報」へ
8．電子化資料（on desk）
9．情報電子化（on-line））
10．インターネット
11．著作権、公貸権

［成績評価の方法］

テスト

［参考文献］

前島重方，志保田務（共編）「図書館概論」（樹村房）

［教科書］

藤野幸雄（ほか著）「図書館情報学入門」（有斐閣）

科　　目　　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
専門資料論		前期	2 単位	松永俊男

［講義概要・学習目標］

人文科学、社会科学、自然科学の各分野の学問としての特徴、および各分野の文献の特徴と種類について解説する。

［講義計画］

1．学術文献とはなにか
2．分野の特徴と学術文献
3．学術雑誌の特徴
4．学術文献の歴史
5．雑誌 nature について
6．学術における不正
7．百科辞典について-1-
8．百科辞典について-2-
9．百科辞典について-3-
10．人文科学・社会科学の二次資料
11．科学技術の二次資料
12．テスト

［成績評価の方法］

平常点と最終テストを総合して評価する。

［参考文献］

［教科書］

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
資料目録法		9月集中	2 単位	北　克　一

［講義概要・学習目標］

資料組織法の中心的柱である目録法の意義・目的と方法、図書館資料の目録法について学習する。目録対象の理解を持ち、目録の基本構造や書誌コントロールの意義を把握し、書誌ユーティリティの機能を理解することを主眼とする。

［講義計画］

コンピュータ目録を中心に取り上げ、併せて最近の全文データベースの組織法やネットワーク情報源のメタ目録についても言及する。

書誌コントロールの歴史、現状、典拠ファイルの役割などについて非逐次刊行物／逐次刊行物を例として取り上げて講義を進める。

［成績評価の方法］

ミニ・テスト及び最終レポート

［教科書］

志保田務，高鷲忠義著，資料組織法第３版，第一法規

プリント，「ＯＰＡＣ、ネットワーク、電子図書館」

［参考文献］

永田治樹著，学術情報と図書館，丸善

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
資料分類法		前期	2単位	吉田　憲一

［講義概要・学習目標］

「Books are for use」（インドの分類学者ランガナタンの図書館学の第一法則）との余りに当然と思われる命題も真となってまだわずか百数十年を経過するにすぎない。膨大な図書館資料を迅速かつ有効に利用できるためには、図書館資料の排架方法を知り、主題から資料にアクセス（検索）するための理論を会得することが第一に必要である。この主題検索の理論は、大別すると分類法と件名法に２分される。

この科目では、両者に共通する主題検索の基本的な考え方を学んでもらうことを目的とする。

［講義計画］

今日の多くの大学図書館で利用に供されているＯＰＡＣ（オンライン閲覧目録）の時代にマッチした理論として考えていきたい。

ｱ)分類法
1．資料分類の意義
2．基礎的理論
3．世界の代表的な分類表
4．日本十進分類法：助記法およびその構造
5．相関索引等

ｲ)件名法
1．分類法と件名法の相違
2．件名標目表とシソーラス
3．基本件名標目表

［成績評価の方法］

出席および最終講義時のテスト結果で評価する。

［教科書］

木原通夫ほか著　『資料組織法　最新版』（第一法規出版）

［参考文献］

丸山昭二郎編　『主題情報へのアプローチ』（雄山閣）

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
資料目録法演習		後　期	1 単位	北　克一

［演習概要・学習目標］

資料目録法で学習した目録規則、典拠コントロールなどを目録作成の演習を通して、目録に対する理解・経験を深めることを目的とする。
コンピュータ目録演習が中心となるので、キーボード操作、マウス操作、かな漢字変換などについては事前に自己学習しておくことが望ましい。

［演習計画］

データシートによる目録作成を通じて目録の基礎を学習すると共に、書誌ユーティリティを使用しての目録作成演習を行う。
作成した機械可読目録を加工して、個々のＯＰＡＣを構築し検索演習を行う。

［成績評価の方法］

演習課題提出と最終レポート

［教科書］

木原通夫［ほか］著，資料組織法・別冊演習問題集録版，第一法規
北　克一著，資料組織演習－書誌ユーティリティ目録演習－，ＭＢＡプリント，「オンライン目録演習」

［参考文献］

丸山昭二郎著，情報と図書館，丸善

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
資料分類法演習		後期	1単位	吉田　憲一

［講義概要・学習目標］

後期の演習（分類法）では，資料の内容（主題）にかかわる検索のための主題組織化の技術，つまり主題索引法（分類法および件名法）について，今日、日本の大多数の図書館で使用されている「日本十進分類法」（ＮＤＣ）および「基本件名標目表」（ＢＳＨ）を用いて授業を進める。毎回，演習課題を課して，それへの解答作成を通じて，主題組織化の実際を学習してもらうことをねらいとする。
また，コンピュータ目録の時代に即した主題検索法についても，コンピュータ室を使用して演習を行う。

［講義計画］

1．主題分析と主題把握
　①自然語による主題把握
　②統一名辞による主題把握
2．分類法
　①分類作業
　②一般分類規程
　③特殊分類規程
　④各類演習
　⑤別置法・図書記号法
3．件名法
　①件名作業
　②件名規程
　③件名演習
4．コンピュータ演習

［成績評価の方法］

授業時に行う演習問題の解答レポートと、テストで
総合評価する。

［教科書］

吉田憲一編著　『資料組織演習』　（日本図書館協会）
（ＪＬＡ図書館情報学テキストシリーズ１０）

［参考文献］

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
児童サービス論		前　期	2 単位	清　水　昭　治

[講義概要・学習目標]

公共図書館では、普通、いわゆる一般用（大人用）と子供用とに部屋又はコーナーを分けて本を配架しています。後者は大体、中学生までを対象にし、絵本から、幼児、幼稚園児、小学生、中学生までの中広い子供用の本を並べています。そして、公共図書館の全蔵出冊数の相当部分をこれらの子供の本が占めています。この講義では、主に、公共図書館の児童サービスを中心として、学校図書館、家庭や地域の文庫活動なども対象にし、又大人と児童との中間地帯のいわゆるヤングアダルトと呼ばれる中学生や高校生などの図書館とのかかわりも考えます。多彩に出版されている子供向の本を実際に授業の中で楽しみながら講義をすすめます。生涯教育が叫ばれる中で、図書館の役割は、今後、ますます増大します。その時、図書館利用が習慣化されることは、大きな意味をもちます。その習慣化の第一歩が児童サービスです。その第一歩の大切さを学びます。

[講義計画]

講義と共に、具体的に、実際に、子供の本を紹介しながら、又、「読みきかせ」などを通じて、子供の本の楽しさを伝えたい。

又、スライドなどを利用しながら、具体的な子供の図書館の姿を学びたい。

[成績評価の方法]

レポート、又は、学年末試験に加えて、出席状況や平常成績とで、総合評価したい。

[教科書]

[参考文献]

参考文献は、講義の中でお知らせしますが、まずは、文献よりも、実際の児童図書館を体験しておいてください。はじめは、少し、躊躇しますが、一度、体験すれば大人用の図書館と同じように利用できることと思います。

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
図書及び図書館の歴史		前　期	2 単位	志保田　務

[講義概要・学習目標]

基本は、図書と図書館の上に流れた歴史を追う。ただし観点を重視し、それぞれの時代の図書館が誰のものであったか、何のために備えられたかに常に留意する。特に近代図書館の成立を、図書館の大衆化及び生涯学習施設化の実現として掘り下げる。

[講義計画]

1. この講義で求める図書館の意義と時代区分
2. 古い時代の図書館　1　アジア・アフリカ
3. 古い時代の図書館　2　エジプト
4. 古い時代の図書館　3　ギリシャ、アレキサンドリア
5. ヨーロッパ中世の図書館
6. ヨーロッパ近代の図書館
7. 商品としての「図書」の脱皮
8. アメリカの図書館
9. アジア・アフリカの図書館
10. 日本の図書館　1
11. 日本の図書館　2
12. まとめ

[成績評価の方法]

テスト　90%
出席　10%

[教科書]

岡田温（著）『図書館』（丸善）

[参考文献]

寺田光孝・藤野幸雄（共著）『図書館の歴史』（日外アソシエーツ）
森耕一（著）『図書館の話』（至誠堂）
石井敦（編）『図書及び図書館史』（雄山閣）

《インテグレーション科目》

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
資料特論		後期	2単位	松永俊男

［講義概要・学習目標］
行政資料、郷土資料、および視聴覚資料に注目し、それぞれの特徴、収集、利用等について解説する。それぞれの専門の研究者によって講義が行われる。

［講義計画］
1．はじめに
2．行政資料について(1)
3．行政資料について(2)
4．情報公開制度について(1)
5．情報公開制度について(2)
6．CD－ROMとインターネットの実習
7．視聴覚資料について(1)
8．視聴覚資料について(2)
9．郷土資料について(1)
10．郷土資料について(2)
11．まとめ

［成績評価の方法］
講師それぞれの評価（テストまたはレポート）を総合して評価する。

［参考文献］

［教科書］

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
情報機器論		後　期	2単位	藤間　真

［講義概要・学習目標］
近年の図書館は、単なる紙の集積ではない。色々な情報機器によって装備されている。そのことは、本学の図書館に1歩入って周りを見渡すだけでわかるであろう。このことからも明らかなように、情報機器に関する知識はこれからの司書にとって不可欠の知識だと言えよう。

本講の目的は、情報機器に関する基本的な知識の修得である。
具体的な計画は右欄の通りであるが、コンピュータの世界の変化と講義の進展の状態に応じて変更することもありうる。

実習は予定していないので、履修登録時には注意すること。
また、連絡は掲示を通じて行うので、常に掲示に留意すること。

［講義計画］
・情報とは
・図書館で使われる情報機器
・情報処理システムの基礎知識
・パソコンの基礎知識
・視聴覚機器とプレゼンテーション

［成績評価の方法］
学年末レポートを主に、平常成績を加味し総合的に判断する。

［参考文献］
進行状況に応じて指示する。

［教科書］

《インテグレーション科目》

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
図書館特論		後期	2単位	志保田　務

［講義概要・学習目標］

現代の図書館は、情報化、コンピュータ化の流れの中にいる。こうした中でデータベースを扱うことは、もはや図書館サービスにおける必須のこととなっている。また、図書館利用者においても、データベースの検索や、CD-ROMの扱いができること時代に入っており、そうした知識を身につけるよう、この授業では学ぶ。インテグレーション科目で、講師には、情報の科学と技術協会の中中心メンバーを招聘する。

計算機センターのコンピュータ演習室を常用する。コンピュータの扱いについては授業で説明にしたがって利用できるようにする。できるだけキーボード操作、入力の練習をしておいてほしい。

なお、前期開講の「情報検索演習　クラス1」と連携している面がある。ただし原則において両者は別科目であり、この科目だけで独立一貫の授業体系を形成している。

［講義計画］

1. イントロダクション：インテグレーション計画
2. 情報利用の時代
3. データベース検索の初歩
4. 科学技術情報の検索
5. 化学・医学情報の検索
6. 特許等の情報の検索
7. データベース検索の第二ステップ
8. 検索機器とネットワーク
9. データベースの実際
10. インターネットの英語
11. まとめ
12. テスト

［成績評価の方法］

テスト　70%
出席　10%
課題　20%

［教科書］

情報の科学と技術協会（編）『情報検索管理入門』第4版（情報の科学と技術協会）
ただし、そのつどのプリントが加わる。

［参考文献］

情報の科学と技術協会（編）『情報検索の基礎』第2版（情報の科学と技術協会）

丸山昭二郎（ほか編）『情報アクセスのすべて』増補改訂版（日本図書館協会）

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
社会学		通期	4単位	清水夏樹

［講義概要・学習目標］

集団、組織、ネットワーク、地域社会、福祉文化といった基礎概念をまなぶことから始め、社会学的なものの見方、とらえ方とはどういうことかを理解できるよう講述する。社会学は、他の社会科学に較べて若く、そのため未熟な部分をもつ反面、社会学的な視角（の枢要側面）が近年認められつつある。そのかくれた面白さと論点をかいまみつつ日常的なトピックスにも眼を向けてみたい。現代社会を生み出した歴史性とアイデンティティの準拠基盤を問う姿勢を忘れずに学んでほしいと思う。

［講義計画］

〈前期〉
社会的自我の発達、言葉とコミュニケーション、役割と組織、個人と大衆社会、集合行動とゲームの相互性、文化と行動様式、共同体社会と集合表象、準拠集団の準拠性レベル

〈後期〉
階級と階層、宗教と経済社会、近代化とポスト工業社会、情報ネットワーク化と文化的協同体、消費社会と新しい集団準拠性

［成績評価の方法］

学年末試験以外に、簡易レポート、同テスト等の成績を加味・評価する。

［教科書］

最初の授業で指示する。

［参考文献］

「青年文化の聖・俗・遊」（恒星社厚生閣）
「柔かい個人主義の誕生」（中公文庫）

<96・97S生対象>

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
医学一般		通期	4単位	郭 麗月

［講義概要・学習目標］

1 人体の基本的な構造や機能について理解させる。
2 臨床医学の各分野の概要について理解させる。
3 医学的リハビリテーションの概要について理解させる。
4 現代社会の代表的な疾患について理解させる。
5 公衆衛生の概要を理解させる。
6 保健医療対策の概要を理解させる。
7 医事法制と保健・医療機関及び専門職について理解させる。

［成績評価の方法］

レポート、定期試験の成績で評価する。

［教科書］

福祉士養成講座編集委員会編
社会福祉士養成講座14「医学一般」（中央法規）

［講義計画］

1 人体の構造・機能
2 一般臨床医学（内科、外科、整形外科、神経・精神科等）の概要
3 医学的リハビリテーションの概要
4 現代社会と疾病
1）がん、成人病
2）各種感染症
3）神経・精神疾患
4）先天性疾患
5）難病
6）その他
5 公衆衛生の現状
1）人口動態
2）疾病と受療状況
3）医療関係者
4）医療施設
6 保健医療対策の現状
7 医事法制と保健・医療機関及び専門職
1）医療法、医師法、保健婦助産婦看護婦法等、医事法制の概要
2）保健・医療機関、専門職と福祉専門職の連携のあり方

［参考文献］

適時紹介する。

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
介護概論	01	9月集中	2単位	津村 智恵子
	02	9月集中	2単位	臼井 キミカ

［講義概要・学習目標］

1 介護の役割と範囲を理解させるとともに、看護・医療及び家政との関係について理解させる。
2 成人・老人・障害者等の介護について理解させる。
3 身体的及び精神的な変化に対する観察能力を身につけ、それらの変化に速やかに正しく対処できる能力を養い、保健・医療機関、専門職へ連絡し協力するとともに、必要に応じてその手助けをすることができるようにする。
4 病気や遭遇しやすい事故についての知識をもち、それらに対する予防措置を講ずることができるようにする。

［成績評価の方法］

レポート

［教科書］

編集代表 津村智恵子、臼井キミカ
『介護実践ハンドブック』（日総研出版）定価3,500円

［講義計画］

1 介護の目標、機能及び範囲
1）介護の原則、目標、機能及び範囲
2）自立的な生活維持に対するニーズと介護の役割
3）成人期以降、老人・障害者の生活ニーズと介護の役割
4）健康維持のメカニズム
5）終末期の介護
2 介護技法（安全、快適、安寧、健康水準の低下予防等）の基本
1）住生活環境の安全管理（感染防止）
2）食と排泄
3）衣服の着脱
4）入浴・身体の清潔と感染防止
5）移動空間の確保
6）健康習慣の獲得
7）体力の維持（運動と機能維持）
8）自己達成と社会生活の維持（レクリエーションと学習等）
9）療養時の対応
10）緊急・事故等の対応
11）介護家族への生活維持援助
3 介護関係維持のための技法
1）健康や生活の観察技法
2）コミュニケーションの技法
3）記録と情報の共有化の技法
4）介護専門職（介護福祉士）と医師・看護婦・保健婦等医療専門職との連携のあり方
5）介護専門職とその他の福祉専門職（社会福祉士）との連携のあり方
4 介護活動の場に特有な問題と技法
1）家庭
2）施設

［参考文献］

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
日本語教授法Ⅰ		通　期	4 単位	有　川　康　二

［講義概要・学習目標］

どんな教授法（教え方の哲学や方法）にも、どんな教科書にも各々長所と短所がある。要は様々な教授法や教科書の長所をなるべく多く利用することである。ここでは、日本語の初級文法に焦点を絞り、実践的な文法導入と練習方法についての議論やシミュレーションを行う。

初級文法は日本語学習者にとって継続学習の基礎となるもので責任も重い。一定の制限された状況や時間内に、日本語を母語としない人に日本語の体系を順序よく説得的に説明し、効果的に練習して「使える日本語」を身につけてもらう為には、教える側に特別の知識と技術が必要となる。

「何故、自分は外国語を学ぶのか。何故、自分は日本語を外国語として教えるのか。」といった日本語教育哲学に通ずるような問題意識も持ってほしい。

［講義計画］

＜前期＞
初級文法項目解説、及び、練習方法の検討

＜後期＞
初級文法項目解説、及び、練習方法の検討

［成績評価の方法］

出席・筆記試験

［教科書］

東京 YMCA 日本語学校（編）『入門日本語教授法』（創拓社）

［参考文献］

三浦昭『初級ドリルの作り方』（凡人社）

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
日本語教授法Ⅱ	01 02	前　期 後　期	2単位 2単位	友　沢　昭　江

［講義概要・学習目標］

日本語学習者の多様化にそって、多くの教材が開発されています。実際の教育に携わる者は、学習者の学習目標や言語背景を考慮に入れ、最も効果的な成果をあげるために最適な教材を選択する眼を持たなければなりません。さらには、市販の教科書や教材ではまかないきれない部分を補充するための自主作成教材を臨機応変に作成する能力も必要とされます。

本講では、市販されている教科書を分析するとともに、自らも教材を作成します。授業は、前半は講義形式で行い、後半はグループに分かれて自分達想定する学習者を対象とした教材開発を行います。

［講義計画］

前半は、様々な市販の教材の構成を研究します。後半はグループで教材を作成します（基本プランの確定、分担の決定、作業の進捗状況の報告、作成教材を提示し、クラスで評価を行います）。

［成績評価の方法］

講義内容に関する小テストを数回行います。後半のグループ作業の途中経過の報告、最終的な教材の提示、クラスでの評価を総合して全体の評価を行います。半期（１３回）の授業なので、基本的に全回出席した人を評価の対象とします。

［教科書］

特に指定しません。（教員により配付されるプリント等を使用します。）

［参考文献］

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
博物館概論		後期	2単位	種田　明

［講義概要・学習目標］

博物館とは何か、その社会的基盤や法的地位、教育的機能などを総合的に講義する。（毎回ＶＴＲを使用する。）日本の博物館の開館数は、１９９７年も約３００館近くに上り、規模やテーマの各種各様の博物館が誕生している。これらの博物館が、研究者のみならず多くの人々に親しまれ活用されるためには、博物館に関する基礎的知識の習得が望まれよう。

博物館法に基づく「学芸員」を志す諸君は、博物館の歴史と現状・博物館における人とのふれ合い（博物館法にいうリクリエーション、社会教育法にいう生涯学習）・博物館のコンセプトや法律などを十分にわきまえ、博物館について楽しみながら学んでほしい。

なお、本学では博物館概論と博物館学各論（４）の２科目６単位を履修し、合格しなければ「博物館実習（３）」の登録はできない。（自由科目としての受講者は、最初に申し出てください。）

［講義計画］

各回４５分「放送大学」のＶＴＲをみて、テーマに関連した講義・解説を行う。新聞・雑誌などからの記事のコピーも交え、博物館の本質について討議できれば、問題の所在が明らかになるであろう。

［成績評価の方法］

博物館見学レポート　２回　（３０％）
試験＜最終講義日＞　（６０％）
出席　（１０％）：欠席５回は受験資格なし

［教科書］

大塚知義『改訂版　博物館学Ｉ』放送大学教育振興会、１９９４年

［参考文献］

講義中に提示する。

科　目　名	クラス	講義区分	単位数	担　当　者
博物館学各論		通　期	4 単位	水　口　薫

［講義概要・学習目標］

近年ミュージアム・マネージメントという研究活動領域が拡大している。生涯学習の必要性と相まって博物館への関心は高く、博物館でも教育・福祉・援助・環境保護などあらゆることにマネージメント感覚が求められている。

本講義では「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報論」を内容とする。

博物館機能の構成要因の一つである博物館経営、博物館資料の収集・保管、展示等についての基礎知識の習得、調査・研究、教育普及活動および情報の意義と活用方法についての理解を図る。

［講義計画］

（前期）
「博物館経営論」
1　博物館の機能、組織、施設の基本的な考え方
2　ミュージアム・マネージメント、教育普及活動
「博物館資料論」
1　博物館資料の概念、収集、整理、保管、記録化
2　博物館資料の保存、展示（常設展示、企画展示）
（後期）
3　資料調査、研究活動の意義と方法、基礎知識
「博物館情報論」
1　博物館における情報の意義、提供について
2　教育普及、情報、インターネットの活用方法

［成績評価の方法］

試験とレポート、出席点にて総合評価。前・後期とも欠席（公欠等事務書類ある場合を除く）6回の者は名簿抹消。

［教科書］

大堀　哲・小林達雄・端　信行・諸岡博熊（編）
『ミュージアム・マネージメント　博物館運営の方法と実践』
（東京堂出版　1996年）
加藤有次・椎名仙卓（編）『博物館ハンドブック』
（雄山閣　1993年（3版））

［参考文献］

適時、プリントを配布。
その他、講義のときに提示する。

《インテグレーション科目》

科　　目　　名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
博物館実習Ⅰ		9月集中	1単位	松永俊男

［講義概要・学習目標］
博物館資料の取り扱いや展示に関する基礎的なことを大学内で実習する。分野ごとに専門の教員が分担して指導する。
予定している実習は、「博物館資料の測定と作図」、「文書資料の取り扱い」、「美術品の取り扱い」、および「パソコンを利用した視聴覚資料の作成」である。

［講義計画］
9月の集中講義期間内に、5日間、連続で実施する。
詳細な日程は、追って発表する。

［成績評価の方法］
全出席が原則である。おもに実習ノートによって評価する。

［教科書］

［参考文献］

《インテグレーション科目》

科　　目　　名	クラス	講義区分	単位数	担当チーフ
博物館実習Ⅱ		集中コース	1単位	松永俊男

［講義概要・学習目標］
博物館の多様性を理解するために、各種の博物館において見学研修を行う。専任教員が交代で引率し、出席の確認をする。土曜、日曜、または休暇中に実施する。総計で12回、実施するが、そのうち4回は両コース共通、コース別にそれぞれ4回である。

［講義計画］
日程の詳細は追って発表するが、予定している博物館は下記の通りである。
両コース共通：和泉市久保惣記念美術館、大阪府立弥生文化博物館、
国立民族学博物館、滋賀県立琵琶湖博物館。
産業文化コース：交通科学博物館、ガス科学館、UCCコーヒー博物館など。
東洋文化コース：堺市博物館、大和文華館、大阪市立美術館など。

［成績評価の方法］
おもに実習ノートによって評価する。

［教科書］

［参考文献］

「大学英語入門A」使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
01	上村淳子	〈スポーツ推薦クラス〉	Mark Jewel	*Attention, Please*	朝日出版社
11	木村博是	経済 〈再履修クラス〉	H. Heaton	*Vocabulary & Reading Skills*	英潮社
12	遠山淳	経済 〈再履修クラス〉	Kiggell, T. & Barnard, D.	*Cubic Listening：Getting down to Business*	Macmillan Language House
13	橋内武	経済 〈再履修クラス〉	Paul Snowdon 松居司 共著 Carol Christian	基礎からのヒアリング演習 *Great People of Our Time*	朝日出版社 金星堂
14	Louise Pender	経済 〈再履修クラス〉	Warren Wilson Roger Barnard	*Fifty-Fifty*	Prentice Hall
15	岩永道子	経済	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
16	上村淳子	経済	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
17	オズモン　道子	経済	Dale Fuller　他	*Everybody's Talking*	Macmillan Language House
18	オズモン　道子	経済	Dale Fuller　他	*Everybody's Talking*	Macmillan Language House
19	金城盛紀	経済	松山・小林・金城	*English through the Ear*	英宝社
20	金城盛紀	経済	米須興文　他	*English at your Fingertips*	英宝社
21	後藤正次	経済	後藤正次	*Oral Communication：Understanding a spoken English Discourse*	新東洋出版
22	後藤正次	経済	後藤正次	*Oral Communication：Understanding a spoken English Discourse*	新東洋出版

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
23	Raoul Cervantes	経済	Cervantes Richards Fuller	*Start Listening* *Listen for It* *Everybody's Talking*	Eichosha Oxford University Press Macmillan Language House
24	平井明代	経済	Michael Rost Munetsugu Uruno	*Basics In Listening*	Lingual House
25	堀内真由美	経済	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
26	三宅亨	経済	Kiggell, T.	*Nexus*	Macmillan Language House
27	山科美和子	経済	Kanel, K. R.	*Enjoy Pop Songs*	成美堂
31	日下隆平	社会 〈再履修クラス〉	横山竹己 他	*Science in Nature and Health*	朝日出版社
32	清水真一	社会 〈再履修クラス〉	小林／J. Davis	*A variety of American Cultures*	成美堂
33	山本雅代	社会 〈再履修クラス〉		授業中に指示する	
34	阿部初子	社会学科	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
35	木村ゆみ	社会学科	木村ゆみ Margaret Yamaguchi	知っておきたい英語表現	開文社
36	坂本姫子	社会学科	Michael Rost Nobuhiro Kumai	*PROGRESS in listening*	Lingual House
37	都築郷実	社会学科	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening-Developing Listening Skills through Rock and Pop*	Macmillan Language House
38	釣井千恵	社会学科	Fuller, D. & Grimm, C. W. 木村恒夫，木村哲夫，Johansson, M. W.	*Airwaves* *5-Minute Quizzes for TOEIC —Listening*	Macmillan Language House Macmillan Language House

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
39	釣井千恵	社会学科	Fuller, D. & Grimm, C. W. 木村恒夫，木村哲夫 Johansson, M. W.	*Airwaves* *5-Minute Quizzes for TOEIC —Listening*	Macmillan Language House Macmillan Language House
40	遠山　淳	社会学科	Kiggell, T. & Barnard, D.	*Cubic Listening：Getting down to Business*	Macmillan Language House
41	西崎和子	社会学科	小林栄智　監修 Nicholas Walker	*Practice in English Reduced Forms* *Changing Asia*	三修社 英潮社
42	山本雅代	社会学科		授業中に指示する	
43	萬戸克憲	社会学科	N. Kumai S. Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
51	遠山　淳	社会福祉学科	Kiggell, T. & Barnard, D.	*Cubic Listening：Getting down to Business*	Macmillan Language House
52	橋内　武	社会福祉学科	川又正之　他編著	*Focus on Japan*	成美堂
53	山本雅代	社会福祉学科		授業中に指示する	
61	岡田章子	経営 〈再履修クラス〉	Shimada, T.	*Short Listening for travel*	成美堂
62	渡邊眞理子	経営 〈再履修クラス〉	川又正之　他編著	*Focus on Japan*	成美堂
63	上村淳子	経営	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
64	オズモン　道子	経営	Dale Fuller 他	*Airwaves*	Macmillan Language House
65	日下隆平	経営	白野伊津夫	*US Life Today*	弓書房
66	近藤摂子	経営	根間弘海 Richard Logan	*Expressions for Everyday Life*	金星堂

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
67	島田勝正	経営	Jack C. Richards	*Basic Tactics for Listening*	Oxford University Press
68	釣井千恵	経営	Fuller, D. & Grimm, C. W. 木村恒夫，木村哲夫 Johansson, M. W.	*Airwaves* *5-Minute Quizzes for TOEIC —Listening*	Macmillan Language House Macmillan Language House
69	釣井千恵	経営	Fuller, D. & Grimm, C. W. 木村恒夫，木村哲夫 Johansson, M. W.	*Airwaves* *5-Minute Quizzes for TOEIC —Listening*	Macmillan Language House Macmillan Language House
70	三宅亨	経営	Kiggell, T.	*Nexus*	Macmillan Language House
71	横町治子	経営	Fuller, D & Grimm, C. W.	*Airwaves*	Macmillan Language House
72	横町治子	経営	Fuller, D & Grimm, C. W.	*Airwaves*	Macmillan Language House
81	Louise Pender	英語英米〈再履修クラス〉	Warren Wilson Roger Barnard	*Fifty-Fifty*	Prentice Hall
82	Raoul Cervantes	英語英米	Richards Fuller	*Listen for It* *Everybody's Talking*	Oxford University Press Macmillan Language House
83	堀内真由美	英語英米	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
84	山科美和子	英語英米	Fuller, D. Grimm, C. W.	*Airwaves*	Macmillan Language House

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
91	Daniel M. Walsh	国際文化 〈再履修クラス〉	Fuller, D. Grimm, C. W.	*Airwaves*	Macmillan Language House
92	大橋範子	国際文化 〈再履修クラス〉	Willard A. Mayes	*Challenge TOEIC*	成美堂
93	Terence J. O'Brien	国際文化	Soars, J. & L.	*Headway Intermediate (Student's Book)*	Oxford University Press
94	木村博是	国際文化	H. Heaton	*Vocabulary & Reading Skills*	英潮社
95	西崎和子	国際文化	小林栄智　監修 Nicholas Walker	*Practice in English Reduced Forms* *Changing Asia*	三修社 英潮社
96	橋本英司	国際文化	Paul Mclean	*Survival English (Book1)*	朝日出版社

「大学英語入門B」使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
01	藤森かよ子	〈スポーツ推薦クラス〉		プリントを使用する (授業開始時に指示する)	
11	金城盛紀	経済 〈再履修クラス〉	Douglas Stout (金城 註)	*U. S. A. : Dreams and Realities*	成美堂
12	近藤富美子	経済 〈再履修クラス〉	James M. Vardaman	*Success*	松柏社
13	Raoul Cervantes	経済 〈再履修クラス〉	Sandra Heyer B. S. Mikulecky L. Jeffries	*True Stories in the News* *Reading Power*	Longman Addison Wesley
14	佐々木英哲	経済 〈再履修クラス〉	Desmond Morris	*The Human Animal* 人間と行動	成美堂
15	上村淳子	経済	Braven Smillie Hiromi Nema	*American Sights and Sounds*	三修社
16	岡田章子	経済	Fox, Sheila	*Someone Cares : Welfare in Britain*	三修社
17	小野良子	経済	Carol Herrman	*Have a Good Trip*	マクミラン
18	作井恵子	経済	B. S. Mikulecky L. Jeffries Sandra Heyer	*Reading Power* *True Stories*	Addison Wesley Longman
19	出原博明	経済		プリント教材 (カセットテープ使用)	
20	出原博明	経済		プリント教材 (カセットテープ使用)	
21	中島剛	経済	Pam Brown	*Charlie Chaplin* *(Longman Famous Lives)*	Longman
22	野原康弘	経済		最初の授業で指示する	
23	萩原直之	経済	Potter, R & Shiozawa, T	*Reading Skills 25*	桐原書店
24	萩原直之	経済	Treborlang, R	*How to be Normal in Australia*	郁文堂

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
25	藤森かよ子	経済	L. J. LINK	*Rhetorical Devices in Print Advertising* 「広告コピーのレトリック」	研究社
26	山本雅代	経済		授業中に指示する	
27	三宅敦子	経済	John Randle 松居　司	*This is Britain* －イギリスの姿－	成美堂
31	中井紀明	社会 〈再履修クラス〉		*Independent Reader*	Macmillan Language House
32	野原康弘	社会 〈再履修クラス〉		最初の授業で指示する	
33	Philip Billingsley	社会 〈再履修クラス〉		使用しない	
34	今井由美子	社会学科	Takehisa Tsuchiya Noriko Kano	*READING NAVIGATOR* （リーディングスキルの演習）	三修社
35	今井由美子	社会学科	Takehisa Tsuchiya Noriko Kano	*READING NAVIGATOR* （リーディングスキルの演習）	三修社
36	上田洋子	社会学科	Braven Smillie 根間弘海	*American Sights and Sounds*	三修社
37	柏木治美	社会学科	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
38	近藤富美子	社会学科	James M. Vardaman	*Success*	松柏社
39	島田勝正	社会学科	Michael Vanghan-Ress	*In Britain*	Macmillan Language House
40	高倉正行	社会学科	奥田隆一　他	*Read Your Way to English*	朝日出版社
41	高倉正行	社会学科	和久　豊	*English over the Internet*	英宝社
42	都築郷実	社会学科	Beth M. Pacheco Joan Young Gregg 共著	*The Powerful Reader-A Thematic Approach for the Japanese Student*	Macmillan Language House
			A. Steadman 編著	*Longman Handy Learner's Dictionary of American English*	Longman

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
43	吉田澄子	社会学科	山崎達朗 S. M. Yamazaki	*Japan Update*（2）	金星堂
51	出原博明	社会福祉学科		プリント教材 （カセットテープ使用）	
52	藤森かよ子	社会福祉学科	A. Sasaki 他	*Global Citizens Today*	蒼洋出版
53	萬戸克憲	社会福祉学科	N. Kumai S. Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
61	梅田礼子	経営 〈再履修クラス〉	Nancy Sakamoto Reiko Naotsuka	*Polite Fictions*	金星堂
62	大塚裕晤	経営 〈再履修クラス〉	Oscar Wilde	*Representative Readings*	あぽろん社
63	大塚裕晤	経営	Lafcadio Hearn	*Old Japanese Tales by Lafcadio Hearn*	学書房
64	大塚裕晤	経営	W.Saroyan	*CHARMING STORIES BY MODERN AUTHORS*	成美堂
65	奥田隆一	経営	Edward Spargo	*Timed Readings Book Two*	Macmillan Language House
66	佐治多嘉子	経営		*Mini-World '98*	Macmillan Language House
67	佐治多嘉子	経営		*Mini-World '98*	Macmillan Language House
68	辻井悦子	経営	James Vardaman	*Selling America*	Macmillan Language House
69	Jeffrey Herrick	経営		*MILESTONES*	Macmillan Language House
70	Jeffrey Herrick	経営		*MILESTONES*	Macmillan Language House

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
71	松田聰太郎	経営	W. B. Balsamo	*Aspects of American Life*	成美堂
72	奥田隆一	経営	Edward Spargo	*Timed Readings Book Two*	Macmillan Language House
81	近藤摂子	英語英米 〈再履修クラス〉	安田哲夫 福田利子	*Newspaper English* *－1998 Edition－*	朝日出版社
82	太原康雄	英語英米	Dennis Smith Junji Nakagawa	*Try America*	三修社
83	中井紀明	英語英米	江川泰一郎	「英文法解説」	金子書房
84	橋本英司	英語英米	Paul Mclean	*Survival English（Book 1）*	朝日出版社
91	大井映史	国際文化 〈再履修クラス〉	D. H. Hwang	*M. Butterfly*	松柏社
92	後藤正次	国際文化 〈再履修クラス〉	後藤正次	*Oral Communication：Understanding a spoken English Discourse*	新東洋出版
93	上田洋子	国際文化	Braven Smillie 根間弘海	*American Sights and Sounds*	三修社
94	大橋襄	国際文化	Saburo Yamamura Kenneth Macdonald	*Planet Problems* 明日の地球のために	成美堂
95	沖野泰子	国際文化	Nancy Stanley 他	*Think in English（1）*	Macmillan Language House
96	堀内真由美	国際文化		*Mini-World '98* *Special Textbook Edition*	Macmillan Language House

英語Ⅰ（リーディング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
01	大川愛子	〈スポーツ推薦クラス〉	Charlotte Gray	*Mother Teresa*	Longman
11	梅田礼子	経済 〈再履修クラス〉	Agnes Chan	*To Be International*	Macmillan Language House
12	小野良子	経済 〈再履修クラス〉	白野伊津夫	*Listening for Travel*	弓書房
13	大橋範子	経済	D. Fullerton	*Tales of the Ancients*	大阪教育図書
14	オズモン　道子	経済	山崎達朗　他	*Japan Update〔2〕*	金星堂
15	後藤正次	経済	SHOJI GOTO	*The Theory of Three Great Writers*	新東洋出版社
16	渡邊眞理子	経済	長谷川 潔　他	*Asia Now*	成美堂
31	オズモン　道子	社会 〈再履修クラス〉	山崎達朗　他	*Japan Update〔2〕*	金星堂
32	前田淑江	社会 〈再履修クラス〉	Clare Lavery	*Focus on Britain Today*	Macmillan Language House
33	清水真一	社会	D. Stout	*U. S. A. : Dreams and Realities*	成美堂
34	橋本英司	社会		プリント教材	
35	吉田澄子	社会		*Mini-World '98*	Macmillan Language House
51	柏木治美	経営 〈再履修クラス〉	Nobuhiro Kumai Stephen Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
52	日下隆平	経営 〈再履修クラス〉	石田 小河 吉田	*Interactive Reader for Paragraph Development*	金星堂
53	都築郷実	経営 〈再履修クラス〉	石黒昭博　他共著 M. H. Manser　編著	英語語彙と表現の総合演習 *Macmillan Student's Dictionary*	英宝社 Macmillan Language House

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
54	都築郷実	経営 〈再履修クラス〉	石黒昭博 他共著 大塚晴夫 編著	時事英語の効果的な学び方 楽しく読める時事英語	英宝社 北星堂
55	上村淳子	経営	柴山森二郎 上地安貞	*Read the Age of Transition*	三修社
56	大井映史	経営	Paul Chance	*We're Only Human*	三修社
57	大塚裕晤	経営	Ernest Hemingway	*The Little Girl and Other Stories*	金星堂
58	岡田章子	経営	Wallace, George	*Student Life in Britain*	松柏社
59	奥田隆一	経営	Dennis A. Chamberlin 他	*Read Your Way to English*	朝日出版社
60	佐治多嘉子	経営	D. A. Trokeloshvili 佐藤史郎 関口章子 千葉　剛	*Let's Enjoy Economics*	南雲堂
61	松田聰太郎	経営	森　捨信	*Developing Reading Ability*	金星堂
71	佐藤充弘	英語英米 〈再履修クラス〉	土屋武久 狩野紀子	リーディング・スキルの演習	三修社
72	太原康雄	英語英米	Yoshinobu Takesue Keith J. D. Miller	*American Ideas in Japan*	成美堂
73	中井紀明	英語英米		プリント教材	
74	橋本英司	英語英米		プリント教材	
81	川上与志夫	国際文化 〈再履修クラス〉	Jack Canfield (太田憲男 編注)	*The magic of Love* (心あたたまる16杯のチキンスープ)	南雲堂
82	太原康雄	国際文化 〈再履修クラス〉	James M. Vardaman Michiko S. Vardaman	*Success*	松柏社
83	近藤富美子	国際文化	Beth M. Pacheco Joan Young Gregg	*The Powerful Reader*	Macmillan Language House
84	髙見有彦	国際文化	行方昭夫 上島建吉 柴田稔彦 川西　進	詳注・詳解 英語の読み方 *College Reader for Everybody*	鶴見書店
85	山科美和子	国際文化	Blanchard, K. & Root, C.	*For Your Information (1)*	Longman

英語Ⅰ（ライティング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
11	Kevin R. Gregg	経済		使用しない	
12	後藤正次	経済	草本康司郎 高木　弘	英語表現演習	新東洋出版
13	David T. Van Ham	経済	Beverly Ingram	*FROM WRITING TO COMPOSING*	Cambridge University Press
31	Kevin R. Gregg	社会		使用しない	
32	佐藤充弘	社会	Haruo Kizuka Roger Northridge	*Common Errors in English Writing*	Macmillan Language House
51	小野良子	経営	Ian Bruce	*Time to Talk*	Macmillan Language House
52	太原康雄	経営	Haruo Kizuka Roger Northridge	*Common Errors in English Writing*	Macmillan Language House
53	野原康弘	経営		最初の授業で指示する	
54	Jeffrey Herrick	経営	OSHIMA AND HOGUE	*INTRODUCTION TO ACADEMIC WRITING*	Addison Wesley
81	佐藤充弘	国際文化	Haruo Kizuka Roger Northridge	*Common Errors in English Writing*	Macmillan Language House
82	Carlquist L. Harris	国際文化		使用しない	
83	Louise Pender	国際文化		開講時に指示する	

英語Ⅰ（リスニング・スピーキング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
01	山科 美和子	〈スポーツ推薦クラス〉	Bruce, I	*Time to Talk*	Macmillan Language House
11	山科 美和子	経済	Bruce, I	*Time to Talk*	Macmillan Language House
12	杉田 トモ子	経済	Raoul Cervantes, Glenn T. Gainer, Brenda Lee, William Lee Mamoru Mukai	*Developing Listening Comprehension〔Ⅱ〕*	英潮社
			Barbara Wells 森戸由久	*Toefl Short Listening Course*	成美堂
13	Louise Pender	経済		開講時に指示する	
31	木村 ゆみ	社会	Sanzo Yahagi William Phalon	*Listening to Natural English*	開文社
32	Ronald Cline	社会		自分で用意する	
51	上村 淳子	経営	Kimberly Forsythe Nobuo Naruke	*Listen Up！*	三修社
52	梅田 礼子	経営	Dale Fuller Linda A. Fuller	*Changing Times* (English for Today's Japan)	Macmillan Language House
53	橋本 英司	経営	Masakazu Someya Paul Murray Fred Ferrasci	*Listening Journey to America*	成美堂
54	Philip Billingsley	経営		未定	
55	三宅 敦子	経営	Angela Buckingham Norman Whitney	*Passport—English for International Communication*	Oxford University Press
56	横町 治子	経営	KAYOKO SHIOMI JODI DALTON	*Enjoy Listening*	英潮社

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
71	橋本英司	英語英米 〈再履修クラス〉	Masakazu Someya Paul Murray Fred Ferrasci	*Listening Journey to America*	成美堂
72	Raoul Cervantes	英語英米	Richards Richards	*Interchange Student Book 1* *Interchange Video Activity Book 1*	Cambridge Cambridge
73	堀内真由美	英語英米	Clare Lavery	*Focus on Britain Today*	Macmillan Language House
74	山科美和子	英語英米		未定	
81	Terence J. O'Brien	国際文化	Jones, Leo	*Let's Talk (Student's Book)*	Cambridge University Press
82	川上与志夫	国際文化	Timothy Kiggell	*NEXUS* *Person-to-Person* *Network Skills*	Macmillan Language House
83	木村博是	国際文化	N. Kumai S. Timson	*Hit Parade Listening*	Macmillan Language House
84	Kathryn L. マルヤマ	国際文化	T. Kiggell & D. Barnard Michael Rost	*Cubic Listening : Headline News* *Cubic Listening : Puzzle it Out* *Basics in Speaking*	Macmillan Language House Lingual House

英語Ⅱ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
〈リーディング〉					
01	岩永道子	英語英米 〈編入生クラス〉	John Dougill	*Rock Classics*	Macmillan Language House
02	杉井正史	英語英米	J. Taylor	*The Tyranny of the New and Other Essays*	金星堂
03	杉井正史	英語英米	Joan McConnell	*Understanding the United States*	金星堂
04	長谷川存古	英語英米	Mosdell, C.	*The New Mirror Makers*	Macmillan Language House
05	平井明代	英語英米	Kumiko Yoshida Masumi Azuma 他 Ginott, H.G.	*Tune In : World Issues with CBS 60 Minute* *Between Parent and Child*	三修社 金星堂
11	佐藤充弘	国際文化	土屋武久 狩野紀子	リーディング・スキルの演習	三修社
12	髙見有彦	国際文化	九頭見一士 安西徹雄	現代随筆・短篇小説選 翻訳英文法	朝日出版社 バベル・プレス
〈ライティング〉					
01	佐々木英哲	英語英米	村松美映子	*Understanding Intercultural Communication* （異文化の理解に向けて）	映央社
02	作井恵子	英語英米	Karen Blanchard Christine Root	*Ready to Write More*	Longman
03	中島剛	英語英米	Jane McElroy	*Write Ahead : A Process Approach to Academic Writing*	Macmillan Language House
04	中島剛	英語英米	Jane McElroy	*Write Ahead : A Process Approach to Academic Writing*	Macmillan Language House
11	近藤摂子	国際文化 〈編入生クラス〉	根間弘海 Wayne Phillips	*Write For Fun*	英宝社

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
12	清水真一	国際文化	木塚／R.Northridge	*Common Errors in English Writing*（改訂新版）	Macmillan Language House
13	後藤正次	国際文化	伊東登　他	*A Constructive Approach to English Translation*	新東洋出版
〈リスニング・スピーキング〉					
01	阿部初子	英語英米	Ian Bruce	*Time to Talk*	Macmillan Language House
02	阿部初子	英語英米	Ian Bruce	*Time to Talk*	Macmillan Language House
03	松田聰太郎	英語英米	J. Knudsen	*Human Interest*	南雲堂
04	Kathryn L. マルヤマ	英語英米	Kiggell and McDonald Michael Rost	*Cubic Listening：Points of View* *Cubic Listening：Surprise, Surprise* *Strategies in Speaking*	Macmillan Language House Lingual House
05	Salvador Ray	英語英米		自分で用意する	
06	Jeffrey Herrick	英語英米		*Milestones*	Macmillan Language House
11	Kathryn L. マルヤマ	国際文化 〈編入生クラス〉	Kiggell and McDonald Lee	*Cubic Listening：Points of View* *Cubic Listening：Closing the Culture Gap* *Transitions 1*　(*student book*)	Macmillan Language House Oxford University Press
12	辻井悦子	国際文化	Todd Jay Leonard	*Talk, Talk：American-Style*	Macmillan Language House
13	橋本英司	国際文化		プリント教材	
14	Kathryn L. マルヤマ	国際文化	Kiggell and McDonald Lee	*Cubic Listening：Points of View* *Cubic Listening：Closing the Culture Gap* *Transitions 1*　(*student book*)	Macmillan Language House Oxford University Press

英語Ⅲ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
〈リーディング〉					
01	前田淑江	英語英米	A. J. Pinnington	*On Britain*	開文社
〈ライティング〉					
01	杉田トモ子	英語英米 〈編入生クラス〉	木塚晴夫	*Writing English through Major News*	金星堂
02	作井恵子	英語英米	Jane McElroy	*Write Ahead*	Macmillan Language House
03	中島剛	英語英米	Karen Blanchard & Christine Root	*Ready to Write More：From Paragraph to Essay*	Longman
〈リスニング・スピーキング〉					
01	Kathryn L. マルヤマ	英語英米 〈編入生クラス〉	T. Kiggell & H. Donald Candace Matthews	*Cubic Listening：Over to Our Reportes* *Cubic Listening：Strange but True* *Speaking Solutions*	Macmillan Language House Prentice Hall Regents
02	Reid Neufer	英語英米	Robinson Phil Alden	*FIELD OF DREAMS*	フォーインクリエイティブプロダクツ
03	山科美和子	英語英米	Harrington, D. LeBean, C. Norma Reveler 根間弘海	*Speaking of Speech* *20 Short Listening Tests*	Macmillan Language House 金星堂
04	Salvador Ray	英語英米			

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
経済英語Ⅰ	01	通期	2単位	野出孝雄

[講義概要・学習目標]

私達は現実の日常生活において意識の有無に拘らず、生産、流通、消費、金融等の経済活動に何らかの形で係わっている。特に国際化された現代社会では英語の経済用語や表現が一般の職場から日常生活に盛り沢山に用いられ又目に触れる。

当講座では、こうした現実に社会人として且つ職業人として対応できる教養を身につけるべく主として用語の理解を中心に学習指導する。

[講義計画]

学習内容としては、
一般職業人の教養レベル及び経済学習の端緒として先ず国家経済の基本たる財政をはじめ、景気変動、国際経済といったマクロ経済の理解に必要な基礎的英語表現を入門テキストから要点を抜萃して指導する。
別に常識的時事経済用語、略語のリスト等を準備
前期、後期共併行して学習指導する。

[成績評価の方法]

年度末及び中間試験
出席率重視

[参考文献]

図書としての参考文献はなく、学生自に必要と思われる用語リスト等を準備、テキストに加えて使用します。

[教科書]

"経済英語入門" 石塚雅彦著
発行所、日本経済新聞社 (日経文庫)
〒100-66 東京都千代田区大手町1-9-5
TEL、03-3270-0251

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
経済英語Ⅰ	02	通期	2単位	モグベル・ザファル

[講義概要・学習目標]

この授業では「経済英語」の基礎を学習する。経済学部生であれば知っておきたい簡単な英語の表現・用語・略語などの学習を通じて英語力をつけながら経済学についても勉強して行く。すぐに役立つ英語、経済学に直結した英語を中心に進めて行く。

GNP とは、GROSS NATIONAL PRODUCT（国民総生産）のこと。では、「GROSS 」にはどのような意味があるのか。辞書をひくと、おびただしい数の定義がこの一つの言葉に付着している。GNP の場合の「GROSS 」は「総計、総額」の意味だが、それ以外にも「大きい」、「粗末な」、「下品な」、「12ダース = 144個」というようなまるで関連のないと思われる意味もある。辞書には紹介されれいないが「GROSS 」には若者のスラングとして「目を覆いたくなる、吐き気をもよおすほどひどい」という意味もある。つまり「GROSS 」とは「チョベリバ」のことなのである。経済英語には一般に使われる意味とは全く違う意味で使われる用語がかなり多く存在する。「CAPITAL MARKET」を「主要な市場」ではなく、「資本市場」と正しく訳せることを目標に置き、経済学で最も重要な用語を中心に学んで行く。

[講義計画]

＜前期＞

生産・消費・投資・貿易・企業活動などの分野から選んだ約２００語を中心に経済学で最も重要な用語を学習する。英語として学ぶだけでなく、これらの用語の持つ経済学的意味をも追求する。英語の経済用語は一般と違う意味で使われることが多いだけでなく、意外な由来を持つものが多々ある。例えば、「INVEST」（投資）はお金に様々な「衣を着せる」という言葉に由来し、「VEST」（ベスト = ちょっき）と同源語である。通貨単位の「DOLLAR」は、ドイツ語の「TAL 」（渓谷）に由来するとされる。そのむかし、中央ヨーロッパのヨハヒム・タール（渓谷）の銀山でとれた銀が銀貨鋳造に使われ「TALER 」と呼ばれたのがことの始まり。今では30以上の国で通貨単位の名称となっている。このような歴史的背景を含めて経済用語を学んで行く。

＜後期＞

テキストを中心に経済英語の勉強をつづける。また、簡単な経済記事の講読も試みる。

[成績評価の方法]

出席を考慮しながら、前期・後期終了時に行う試験の結果によって判定する。

[参考文献]

[教科書]

石塚雅彦（著）『経済英語入門』（日本経済新聞社）

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
経済英語 I	03	通期	2単位	和田 肇

[講義概要・学習目標]

日本の経済は、今や世界経済と密接な関係にある。今後、益々、金・物・人・サービスの交流が活発になり、経済のみならず、ビジネス活動が国際化、高度化していくと。学生諸君は、今後国際社会で活躍するにあたり、パソコンの習得以外に「英語で経済が読める」能力を備え、高めておく必要があります。
その ツールとして 英字新聞が最適です。英語学習者にとって、英文記事は、独特の専門用語を用いるため、取っ付きにくく、敬遠されがちですが、語彙と熟語の増強にも役立ち、すばやく国際ビジネス情報を入手するのに役立ちます。
英字新聞を通して、日本のマスメディアとは、やや異なる視点で、日本・世界経済を鳥瞰することが、欧米人の物の見方、考え方を学ぶことにもつながります。
学習資料は、日本、米国、アジア関連の経済記事を用います。内容は、単に経済にとどまらず、国際ビジネス、自然環境保護、エネルギー問題、社会問題にわたり、その背景について解説を行い、海外ビジネスと交渉する際に必要な幅広い教養を身につけます。
英語で、日本の新聞を読むのが好きな人の参加を期待します。

[講義計画]

(前期)
1 為替 (I)
2 〃 (II)
3 金利 (I)
4 〃 (II)
5 株式市場 (I)
6 〃 (II)
7 銀行 (I)
8 〃 (II)
9 時事問題 (I)
10 〃 (II)
11 〃 (III)
12 〃 (IV)

(後期)
13 ビッグバン(金融改革)
14 日本企業の海外進出
15 企業買収、合併
16 貿易摩擦
17 リストラ
18 倒産
19 ニュービジネス
20 エネルギー問題
21 地球の温暖化問題
22 時事問題 (I)
23 〃 (II)
24 〃 (III)

(注) 年間を通じ、時機を得た時事問題を織り込む。

[成績評価の方法]

前期、後期のレポート内容(英文記事の和訳)と出席状況に基づき総合的に評価を行う。語学習得には根気が必要です。

[参考文献]

「英文経済記事の読み方」(日本経済新聞社編/日経文庫)
「経済英語入門」(石塚雅彦/日本経済新聞社/日経文庫)
「コンサイス時事英語辞典」(石幾邦薫/三省堂)

[教科書]

不要(当方でプリントします)

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
経済英語 II		通期	2単位	野出孝雄

[講義概要・学習目標]

学習目標としては、国際ビジネスや経済研究分野に英文表現に関し抵抗なく進み得る素養を培うことにあるが、先づは経済英語"I"にも共通する基礎的知識をベースにミクロの分野の経済や専門的事項の解説を含め学習対象の範囲を拡げて学習指導する。

[講義計画]

経済英語の基礎知識を学ぶ点では経済英語"I"に共通する部分が多いが、加えて産業別、企業、家計といったミクロ経済に亘るより中広い英用法、表現を指導する。別途用語リストに加え、実践的読解力及び作文能力を養うため、出来る限り英文経済記事を副教材として多用する。
後者の学習は主として後期に実施する。

[成績評価の方法]

年度末及び中間試験
出席率を重視

[参考文献]

図書としての参考文献は特に使用せず、英文経済記事を抜粋 copy して副教材として多用します。

[教科書]

"経済英語入門" 石塚雅彦著
発行所 日本経済新聞社 (日経文庫)
〒100-66 東京都千代田区大手町1-9-5
TEL 03-3270-0251

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
ビジネス英語Ⅰ	01	通期	2単位	野出孝雄

[講義概要・学習目標]

文字通り国際間の為取引の場で用いられる英語表現ということになるので貿易取引の概略及びコミュニケーションの主要手段としての通信文を中心に学習するが、ビジネスレターは所定の書式に則って体裁を整えているので学習の結果としてビジネスに限らず、広く国際分野に進む学生諸君にとって一般の英文レターを容易に読み書きできることも当学習の意義をもつ。

[講義計画]

学習内容としては、

(1) 前提としてのビジネス一般、特に貿易取引の仕組の解説
(2) 当事者間主要コミュニケーション手段としての通信文
(3) 取引関連特に使用頻度の高い定型文書類
(4) オフィス内の英会話

などが学習項目として挙げられるが、ビジネス英語Ⅰでは ビジネスの流れと貿易の仕組み、用語の理解及び英文レターの読解、作文能力に重点を置いた指導をする。

[成績評価の方法]

年度末試験
中間試験
出席率重視

[参考文献]

図書としての参考文献は使用せず、自分にて資料を適時手配 copyして受講生に配布します。

[教科書]

"最新ビジネス英語入門" 児島晃、土岐勝著
発行所 (株)金星堂
〒101 東京都千代田区神田神保町3-21
TEL. 03-3263-3828

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
ビジネス英語Ⅰ	02	通期	2単位	和田肇

[講義概要・学習目標]

国際ビジネスマンになるための必須条件として、世界の主流語となりつつある英語と、パソコンを駆使する能力があげられている。英語を学習するにあたり、文法・単語といったハードウェアーの重要性もさることながら、その言語が使用されている国の文化と、人々の物の考え方を知ること、つまりソフトウェアーも理解しておくことが併せて大事である。将来、学生諸君が海外へ赴任される際、事前に日米の企業文化の差異を理解しておくと、不要なトラブルに巻き込まれず、楽しい海外生活が過ごせます。米国転勤を想定し、遭遇するであろう日米の文化の相違について英字新聞、雑誌を通して、解説を行う。テーマには米国駐在中に遭遇すると思われる日本では未だ目新しい事象、文化を取り上げる。又、無知が故に日本人が陥り易い法の罠についても事例を交えて説明を行う。
英語と日本の新聞を読むのが好きな人の参加を期待します。

[講義計画]

(前期)
1 ビザ(査証)の取得方法
2 自動車免許の取得方法
3 銀行口座開設方法
4 クレジットカードの取得方法
5 米国での交渉、現地法人開設方法
6 不動産購入の方法
7 米国人採用時の注意事項
8 企業買収(M&A)
9 弁護士の利用方法
10 陪審員制度
11 時事問題(Ⅰ)
12 〃(Ⅱ)

(後期)
13 ベンチャービジネス、ベンチャーキャピタル
14 株主訴訟
15 集団訴訟
16 取締役責任
17 製造物責任(P/L)
18 セクシュアルハラスメント
19 アファーマティブアクション
20 離婚
21 地球環境保護
22 時事問題(Ⅰ)
23 〃(Ⅱ)
24 〃(Ⅲ)

(注)年間を通じ、時機を得た時事問題を織り込む。

[成績評価の方法]

前期、後期のリポート内容(英文記事の和訳)と出席状況に基づき総合的に評価を行う。語学習得には、根気が必要です。

[参考文献]

「英文経済記事の読み方」(日本経済新聞社編/日経文庫)
「コンサイス時事英語辞典」(磯部 薫/三省堂)

[教科書]

不要 (当方にてプリントします)

科目名	クラス	講義区分	単位数	担当者
ビジネス英語Ⅱ		通期	2単位	野出孝雄

[講義概要・学習目標]

現実の企業活動、海外取引の実態の解説を基礎に、海外コミュニケーション手段としての貿易通信を中心に、オフィス内の口答、文書の定型表現を取上げ、関連参考用法等も併せて広く所謂ビジネス英語全般の理解、習得に努め、ビジネスを含めて国際分野に通ずる相応しい素養を培うことを目標として学習指導する。

[講義計画]

ビジネス一般、海外取引の仕組みの解説等基礎知識については「ビジネス英語Ⅰ」と共通するが、

(1) 関連英文書類
(2) 貿易通信文の読解力、作文能力向上のための練習問題を多用応用力をつける。
(3) ビジネス文書特有の用法表現と関連用法
(4) 類型的オフィス英会話

を主たる学習内容とする。

[成績評価の方法]

学期末試験
中間試験
出席率重視

[教科書]

最新ビジネス英語 "English for International Business Communication"

石垣井 陽一
大塚 朝夫 共著
福田 靖

発行所 (株)成美堂 〒101 東京都千代田区神田小川町3-22 TEL. 03-3291-2261

[参考文献]

図書としての参考文献は使用せず、自分にて必要と考える資料を適宜抜粋、又は作成 copy して学生に配本します。

「英語Ⅲ（リーディング）・（ライティング）・（リスニング・スピーキング）」〈国際文化学科　学科自由科目〉の応募要領について

1）上記科目については、予備登録（先着順受付）によって受講者の決定を行う。
2）どのクラスも出席を重視する。一定の成果を上げるためには、授業への継続的な出席が欠かせないからである。
3）学則上、これらの科目は、国際文化学科の学科自由科目に位置づけられている。
4）募集は次の日程で実施する。

〈日時〉3月31日（火）～4月1日（水）　9時20分～15時00分
〈申込受付〉学務課窓口
〈対象〉96生

〈注〉曜日・時限、時間割コードについては、授業時間割表でよく確認すること。

〈国際文化学科　学科自由科目〉「英語Ⅲ」使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
〈英語Ⅲ（リーディング）〉					
91	渡　邊　眞理子	国際文化	James Vardaman	*Selling America*	Macmillan Language House
〈英語Ⅲ（ライティング）〉					
91	Louise Pender	国際文化		プリント教材	
〈英語Ⅲ（リスニング・スピーキング）〉					
91	Louise Pender	国際文化		プリント教材	

「英語Ⅰ（リーディング）・（ライティング）・（リスニング・スピーキング）」〈共通自由科目〉および「英語Ⅱ（リーディング）・（ライティング）・（リスニング・スピーキング）」〈共通自由科目〉の応募要領について

1）上記科目については、予備登録（先着順受付）によって受講者の決定を行う。
2）どのクラスも出席を重視する。一定の成果を上げるためには、授業への継続的な出席が欠かせないからである。
3）学則上、これらの科目は、共通自由科目（日本語・外国語系）に位置づけられている。
4）募集は次の日程で実施する。

〈日時〉3月31日（火）～4月1日（水）　9時20分～15時00分
〈申込受付〉学務課窓口
〈対象〉96・97生

〈注〉曜日・時限、時間割コードについては、授業時間割表でよく確認すること。

〈共通自由科目〉「英語Ⅰ・英語Ⅱ」使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
〈英語Ⅰ（リーディング）〉					
91	近藤 富美子		Beth M. Pacheco Joan Young Gregg	*The Powerful Reader*	Macmillan Language House
92	中村 祥子		J. Leo et al. 津田幸男 編注	*American Identity and Relationships*	三修社
〈英語Ⅰ（ライティング）〉					
	Carlquist L. Harris			使用しない	
〈英語Ⅰ（リスニング・スピーキング）〉					
91	岩永 道子		Hiroto Ohyagi Timothy Kiggell	*Viva San Francisco*	Macmillan Language House
92	Salvador Ray				
〈英語Ⅱ（リーディング）〉					
91	渡邊 眞理子		Chris Mosdell	*The New Mirror Makers*	Macmillan Language House
〈英語Ⅱ（ライティング）〉					
91	石塚 浩司			最初の授業で指示する	
〈英語Ⅱ（リスニング・スピーキング）〉					
91	Carlquist L. Harris		Steven Molinsky Bill Bliss	*Express ways 2*	Prentice Hall